

## 今号のピック

## 新年度に向けて

■ 所長 神田康弘

## センターの開館時間等について

皆様方におかれましては、平素から、岡山県聴覚障害者センターの施設等をご利用いただき、深く感謝申し上げます。

センターだより第83号では、皆様方にセンターの開館時間等について、改めてお知らせをし、皆様方のご理解とご協力の下、さらなる利用を促進するとともに、センター職員にとっても快適な職場づくりに寄与できるよう考えております。

センターの開館時間及び休館日は、次のとおり、県条例及び県規則に定められています。

## ○開館時間

土曜日及び日曜日 午前9時から午後5時まで  
その他の曜日 午前9時から午後7時まで

## ○休館日

- ・毎週火曜日
- ・国民の祝日に関する法律に規定する休日
- ・火曜日が休日に当たるときは、その翌日
- ・年末年始

(1月2日から4日まで及び12月28日から31日まで)

## ○センター職員の勤務

- ・土曜日及び日曜日を除き、早番及び遅番の交代勤務
  - ・休憩時間
- 早番勤務、土曜日及び日曜日 午後零時から午後1時まで  
遅番勤務 午後1時から午後2時まで

皆様方におかれましては、センターのご利用、ご来館に当たり、上記の開館時間等をご了知いただくとともに、

さらなるご利用、ご活用をいただきますよう、ご理解、ご協力を賜りたいと存じます。

## 施設等の利用について

センターだより第80号において、「施設の利用状況をご覧ください」のタイトルの下、センターの研修室及び会議室の利用状況については、土曜日、日曜日に多くの予約が集中する状況にある反面、休館日を除くウィークデーの予約は、比較的余裕が見受けられる状況にあることをお知らせしました。

センター施設の利用の傾向については、センターだよりへの掲載後にも大きな変化は見受けられませんが、多くの利用者の方々にバランスよく、快適に利用していただくため、可能な限り、研修室及び会議室の利用は、土曜日及び日曜日から、休館日を除くウィークデーにシフトした利用をより進めていただくことにより、ご利用される皆様方への窓口対応をより円滑に遂行できるものと思います。

## 新年度に向けて

センターは、令和7年9月で設立20周年を迎えました。これを契機として、広く県民のセンター及び聴覚障害者への理解を深めるとともに、県民と聴覚障害者関係団体との交流促進を図ることを目的として、令和8年秋に記念事業を実施することとしています。

センターでは、引き続き、皆様方と連携を図りながら、聴覚障害者の福祉の増進に努めてまいりますので、さらなるご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## 1 災害に備えた防災意識の向上について

### 災害救援専門ボランティア研修会

1月17日（土）きらめきプラザ 301 会議室で、災害救援専門ボランティア研修会を開催し、県登録手話通訳者・要約筆記者、聴覚障害者など 54 人の参加がありました。岡山県自主防災組織支援講師の太田裕之氏をお招きし、「災害に備えた防災意識の向上について、聴覚障害者の対応・支援」をテーマに講演いただきました。いつ起こるか分からない災



害に備えて、私たちに出来ることは何か。自助力向上のための備えや、支援者と被支援者が共通認識を持つ大切さ、聴覚障害者支援に必要なコミュニケーションツール等について学びました。

研修会の後半は、遠隔通訳の実施訓練を行い、情報保障の技術研鑽を行いました。

研修会を通じて、災害時において自分に出来ることは何か、情報保障者の役割について思いを巡らせることができました。

## 2 聞こえを支える技術と人のつながり

### 要約筆記者現任研修会

2月7日（土）きらめきプラザ 401 会議室で要約筆記者現任研修会を開催し、50 人の参加がありました。前半は、医療法人さくら会 KIDS\*FIRST の言語聴覚士 佐藤吏江氏をお迎えし、「聞こえを支える技術と人のつながり— 補聴器・人工内耳・集音器の理解と支援」と題してご講演いただきました。難聴者の聞こえの特徴、補聴器や人工内耳のしくみ、補聴器と集音器の違いなど丁寧に説明いただきました。聞こえを支える技術は、難聴者にとって必要不可欠である一方、機器があれば十分なわけ

ではなく、人との関わりを助ける要約筆記者は難聴者にとって必要な存在であると締めくくられました。

後半は、統一試験の過去数年分の対応問題を取り上げ、グループ討議をしました。要約筆記者としてどう対応すべきか、現役の要約筆記者であっても迷うことは多々あります。基本原則を再確認した上で意見交換を行うことで、自分自身を振り返り、新たな気づきを得る機会となりました。



## 3 優生保護法裁判と手話通訳

### 手話通訳者現任研修会

2月22日（日）、きらめきプラザ 301 会議室で、手話通訳者を対象とした研修会を開催し、58 名の参加がありました。

午前の講演は、明石市市民生活局インクルーシブ推進課の米野規子氏をお迎えし、「優生保護法裁判と手話通訳」と題してご講演をいただきました。令和 6 年 7 月 3 日の最高裁大法廷判決に至るまでの歩みをお話しされました。明石市で被害に遭われたろう夫妻への聞き取り、聞き取ったこ



との関連情報の収集、弁護士との打ち合わせ、手話通訳現場の調整など多大な労力が費やされたようです。最後に米野氏は、「障害＝不幸・可哀想・遠慮すべきもの」という根強い偏見を払拭するためには、一人ひとりの積極的な行動が必要であると話されていました。

午後からは、これまでの通訳活動において困ったことなどを共有し、対処方法についてグループワークを行いました。後半は、聞き取り通訳の実技演習を行い、グループで手話表現について活発な意見交換が行われました。

## 4 遠隔要約筆記研修会

### 要約筆記者養成（現任研修）事業

要約筆記者を対象とした遠隔要約筆記研修会全 9 回（現場実習を含む。）が終了し、延べ 126 人の参加がありました。パソコン遠隔通訳の実習では、模擬会議の情報保障を各自が自宅から行ったり、実際のオンライン会議を見学したりするなど、より実践的な研修を行いました。第 8 回は、手書き・パソコン共通として、認定 NPO 法人長野サマライズ・センターの事務局長 小笠原恵美子氏をお迎えして、遠

隔通訳の取り組みについてご講演いただきました。コロナ禍でオンライン会議や遠隔通訳が広まるずっと前から、講師は遠隔通訳に取り組まれてきました。講師の豊富な経験や過去の事例に基づいた具体的なお話は、遠隔通訳について知見を深める貴重な機会となりました。



## 受講生募集!

- ・申し込み方法など詳しい募集要項は事務室で配付しています。ホームページからもダウンロードできます。ご不明な点がございましたら岡山県聴覚障害者センターへお問い合わせください。
- ・いずれの講座も教材費として2,000円のほか、別途テキスト代が必要です。

講座名	会場	期間・回数		申込締切	備考	
手話通訳者養成講座	基本課程 (手話通訳Ⅰ) ●岡山会場	県聴覚障害者センター	9月12日 ～2月20日	毎週土曜 10～12時(10～15時の回が数回あります) 計20回	8/29(土) 必着	受講試験 9/5(土) 10:00～
	基本課程 (手話通訳Ⅰ) ●倉敷会場	倉敷市 くらしき健康福祉プラザ	5月21日 ～12月3日	毎週木曜 概ね18:45～20:45 計28回	5/7(木) 必着	受講試験 5/14(木) 18:45～
	応用課程 (手話通訳Ⅱ) ●岡山会場	県聴覚障害者センター	5月30日 ～10月31日	毎週土曜 10～12時または13～16時(10～15時の回が数回あります)計20回	5/16(土) 必着	受講試験 5/23(土) 10:00～
	応用課程 (手話通訳Ⅱ) ●真庭会場	真庭市 落合総合センター	4月24日 ～11月6日	毎週金曜 概ね19～21時 計28回	4/10(金) 必着	受講試験 4/17(金) 19:30～
要約筆記者養成講座	県聴覚障害者センター	6月7日 ～12月20日	毎週日曜 計18回 12:45～16:45(12回) 10:00～16:45(6回)	5/28(木) 必着	実技は手書きかパソコンのいずれか選択	
要約筆記 ちよこっと体験	県聴覚障害者センター	5月24日(日) 10～12時 要約筆記に関心のある方や、養成講座の受講を検討されている方は、ぜひいちど要約筆記を体験してみませんか。				

### 手話通訳者養成講座が終了しました

基本課程・岡山会場が2月21日に終了し11人が修了しました。

### 合格発表がありました

#### ●手話通訳者

昨年12月6日に実施した岡山県手話通訳者認定登録試験(手話通訳者全国統一試験)の結果発表があり、1名が合格しました。

#### ●手話通訳士

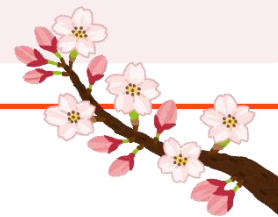
昨年7月及び9月に実施された厚生労働大臣公認手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)の結果が1月に発表され、2名が合格しました。

#### ●要約筆記者

2月15日に実施した岡山県要約筆記者登録試験(全国統一要約筆記者認定試験)の結果発表があり、5名が合格しました。

### 学校教育との連携

- 1月8日(木)に岡山聾学校の寄宿舎生と引率教員合わせて18人が来所しました。ライブラリー室を見学し、手話・字幕入りDVDを借りました。
- 2月13日(金)に岡山聾学校小学部5年の生徒と引率教員合わせて6人が来所しました。センター業務の説明を受け、生活応援グッズの利用体験を行いました。
- 2月20日(金)にセンター研修室で電話リレーサービス・ヨメテル体験登録会を開催し、岡山聾学校高等部3年の生徒と先生の4人が参加しました。日本財団電話リレーサービスのスタッフから電話の具体的な使い方の説明を受けました。



### 退任 ご挨拶

#### 金澤佳代さん(専任手話通訳者)が3月に退職しました

入職して3年と1か月が経ちました。高知県から岡山県に転勤してきて、今月末には新潟県に転勤します。この間、皆さまに温かいご指導をいただいたおかげで、今日まで何とか勤めることができました。短い期間ではありましたが、楽しく充実した毎日でした。お世話になりました。ありがとうございました。



